

平成17年度 事業報告書

平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

特定非営利活動法人 産業・環境創造リエゾンセンター

1. 事業実施の成果

①調査・研究事業

資源及びエネルギー循環に関する調査・研究事業に関しては、昨年度に引き続きエネルギーおよび資源循環に関する2つのワーキンググループ活動を実施した。

エネルギー循環については、昨年度に実施した京浜臨海部における産業系排熱量の把握を元に、新規開発候補地（神奈川県エリア）と近隣の排出工場を特定し、熱の需給マッチングの詳細検討などにより、具体的な熱供給システムを明らかにした。また、オフライン熱輸送技術の調査と評価を行い、実用可能な技術を明らかにした。

資源循環については、昨年度に実施した川崎臨海部立地企業アンケート調査をもとに廃棄物排出事業者への訪問ヒアリングを行うなどして、汚泥、廃プラスチック等の域内のリサイクル可能性を確認した。また、東洋大学等の連携を通じて循環資源に関する情報データベースの原型を完成させた。これらの資源循環ネットワーク化活動の内容を「川崎工業振興倶楽部」の会員に紹介したところ、情報データベースの利用などに大きな期待が寄せられ、本事業活動の領域が大きく拡大した。

産業活性化に向けた仕組みづくりに関する調査・研究事業に関しては、昨年引き続き、国際環境特区ワーキンググループを形成し、臨海部立地企業等へのアンケートなどの実施を通じて、「臨海部の緑のあり方と産業活性化」についてとりまとめた。その結果を川崎臨海部再生リエゾン協議会を通じて川崎市長に提言書として提出し、川崎市において「川崎臨海部工場立地法等緑地関連検討委員会」の設置が決定された。

②普及・広報事業

・当NPOの活動と成果に関する広報事業の一環として、川崎再生リエゾン推進協議会（事務局：川崎市）との共催でシンポジウムを主催し、調査・研究事業で得られた成果を広く情報発信した。

・地球温暖化防止に向けた意識啓発の推進を目的として、川崎駅地下街アゼリアにて開催された「川崎地球環境フォーラム」（主催：川崎市）に、当センターとしてブース出展し、パネル展示等により直接市民に活動の内容を説明するとともに、当NPOの紹介チラシ、3月に開催予定の臨海部再生シンポジウムの案内、会員企業の環境報告書の配布などの広報活動を実施した。

・ホームページによる情報発信についてはその内容の充実、方法等についての検討を行ったが実施には至らず、次年度の課題として残った。

2. 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
調査・研究事業	資源及びエネルギー循環に関する調査・研究事業	通期	事務所 法人会員の会議室	35人	首都圏、特に京浜地区の住民、約300万人	11,778
調査・研究事業	産業活性化に向けた仕組みづくりに関する調査・研究事業	通期	事務所	15人	不特定多数	3,047
普及・広報事業	シンポジウムの開催	平成18年3月23日 14:00～17:30	川崎市産業振興会館	20人	不特定多数	1,133
普及・広報事業	「川崎地球環境フォーラム」への出展	平成18年2月22日 終日	川崎駅地下街アゼリア	5人	不特定多数	0

(2) その他の事業

なし